



報道発表資料の配付日時 10月28日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	死亡野鳥(マガモ)における高病原性鳥インフルエンザウイルス 遺伝子検査の結果について(陰性)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 10月26日に旭川市で回収し、簡易検査で陽性反応が出たマガモ1羽の死亡個体について、本日(28日)、北海道大学における遺伝子検査の結果、<u>高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった(陰性)</u>のお知らせします。</p> <p>※低病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)は検出されましたが高病原性鳥インフルエンザは検出されませんでした。</p> <p>○ このため、環境省は、<u>10月26日に指定した野鳥監視重点区域(回収地点から半径10kmの区域内)</u>を、本日、解除しました。</p> <p>〈道の対応〉</p> <p>(1) 上川総合振興局管内の野鳥監視重点区域対応を終了。 各振興局における、野鳥生息場所の監視、死亡野鳥等の検査などの対応を継続します。</p> <p>(2) 全道の家きん飼養農場に対し、農場入口や鶏舎周囲の定期的な消毒を指導するとともに、異状が見られた場合の早期通報の徹底及び防鳥ネット等による野鳥の侵入防止対策の徹底について、引き続き、指導します。</p>		
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低病原性鳥インフルエンザウイルス ウイルスの血清亜型がH5又はH7で、<u>ニワトリに対する病原性(致死率や伝播力など)が低い</u>ウイルス。</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザウイルス ウイルスの血清亜型がH5又はH7で、<u>ニワトリに対する病原性(致死率や伝播力など)が高い</u>ウイルス。</li> </ul>		
報道(取材)に当たってのお願い	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。		
他のクラブとの関係	同時配付	環境省、上川総合振興局 同時レク	
担当(連絡先)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境生活部環境局自然環境課野生鳥獣係(担当者:山中) TEL:011-231-4111(内線24-382)ダイヤルイン:011-204-5205</li> <li>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:信本) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</li> </ul>		